Pioneer sound.vision.soul

スピーカーシステム

PDP-S57-LR

「据付工事」について

- 本機は十分な技術･技能を有する専門業者が据付けを行うことを前提に販売されているものです。据付け･取付けは必ず工事専門業者または販売店にご依頼ください。
- なお、据付け･取付けの不備、誤使用、改造、天災などによる事故損傷については、弊社は一切責任を負いません。

取扱説明書

このたびはパイオニア製品をお買い求めいただき、ありがとうございました。

● 正しく安全にお使いいただくため、お使いになる前に「安全上のご注意」を必ずお読みください。
● 本製品の機能を十分に発揮させてお使いいただくために、この取扱説明書を最後までお読みください。
● お読みになったあとは、大切に保管してください。

本機は、パイオニア製５０Ｖ型プラズマディスプレイ専用スピーカーシステムです。
PDP-S57-LRはPDP-507CMX-JP用です。
その他のモデルへの取り付けについての詳細は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

安全上のご注意(絵表示について)

この取扱説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠ 注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定されるか、物的損害の発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△記号は注意（警告を含む）しなければならない内容であることを示しています。

⃠記号は禁止（やってはいけないこと）を示しています。

●記号は行動を強制したり指示する内容を示しています。

ご使用の前に

⚠ スピーカーを過大入力による破損から守るため下記の注意事項をお守りください。
- 最大入力以上の信号を加えない。
- 本機を含むAV機器をアンプへ接続するときはアンプの電源をOFFにする。
- グラフィックイコライザーで高音を大幅に増強する場合、音量を上げすぎない。
- 小出力アンプで無理に大きな音を出さない（アンプの高調波歪が増え、スピーカーを破損することがある）。

⚠ 警告

- スピーカーを持ってプラズマディスプレイを移動しないでください。プラズマディスプレイが落下してけがの原因となります。プラズマディスプレイを動かすときは、プラズマディスプレイ本体の下側を持って持ち上げてください。
- 安全確保のため、ネジ類は確実に締めつけてください。スピーカーが落下してけがの原因となります。

⚠ 注意

設置

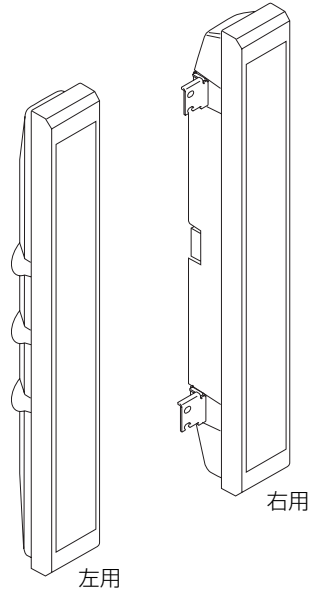
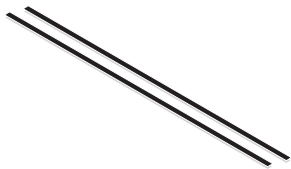
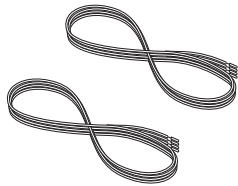
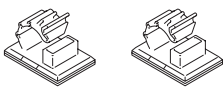
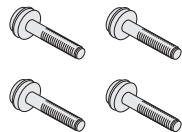
- ぐらついた台の上や傾いたところなど不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。
- 直射日光が当たる場所など異常に温度が高くなる場所に置かないでください。火災の原因となることがあります。
- 湿気やほこり、油煙や湯気の当たるようなところ（調理台や加湿器のそばなど）に設置しないでください。火災の原因となることがあります。

使用方法

- 長時間音が歪んだ状態で使わないでください。スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。
- 本機に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。特にお子様はご注意ください。倒れたり、壊れたりしてけがの原因になることがあります。
- スピーカーに水を入れたり、濡らさないでください。火災・感電の原因となります。また、屋外では使用しないでください。火災・感電の原因となります。
- 接続コードの上に重いものをのせたり、コードがプラズマディスプレイの下敷きにならないようにしてください。コードに傷がついて火災・感電の原因となります。
- スピーカーの開口部などから内部に金属類や燃えやすいものなど異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特に小さなお子様のいるご家庭や場所ではご注意ください。
- スピーカーを指定のプラズマディスプレイ以外に接続して使用しないでください。故障・火災の原因になることがあります。

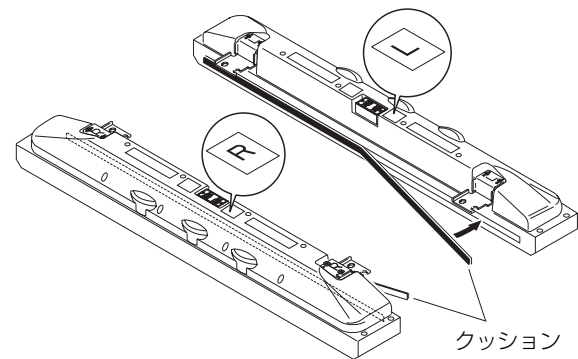
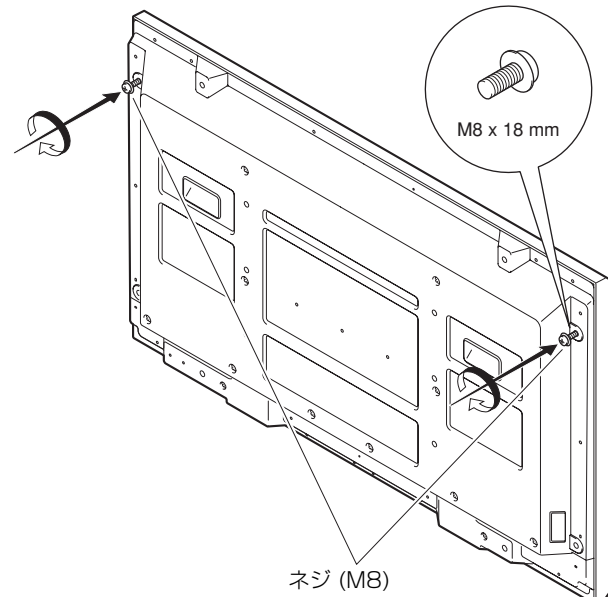
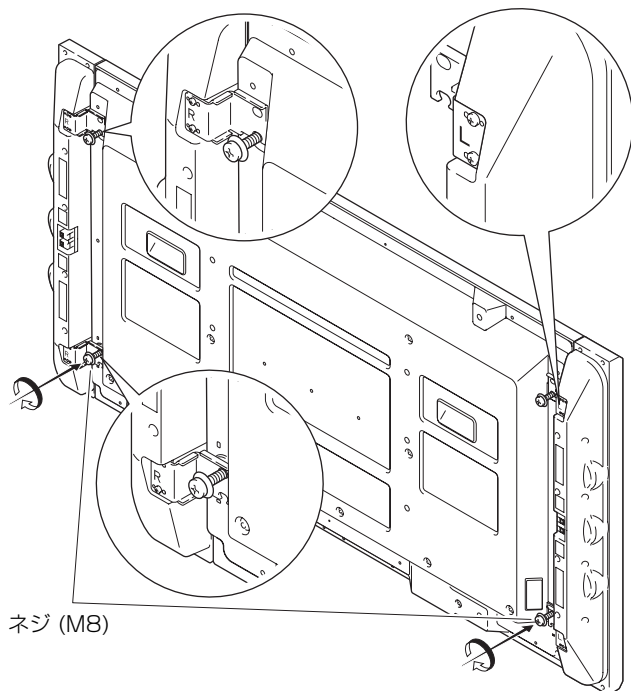
お願い

プラズマディスプレイ以外のディスプレイに近づけた場合、設置の仕方によっては、画面に色ムラなど影響が生じる場合があります。その際は、スピーカーをディスプレイから離してご使用ください。

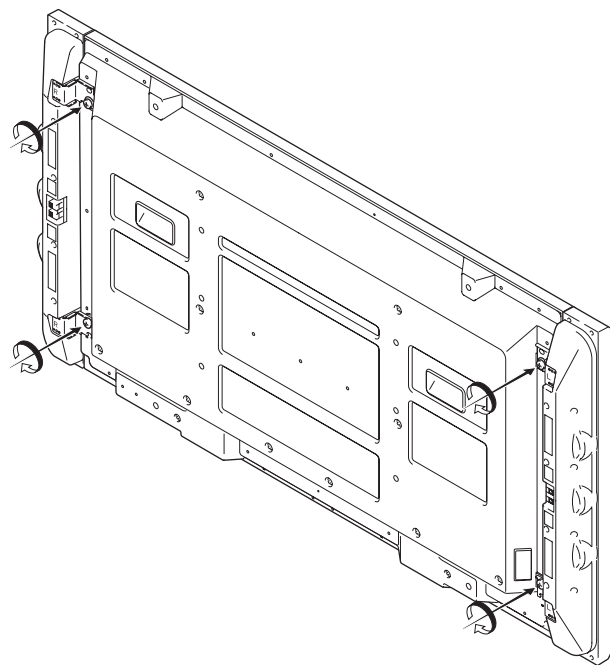
付属品の確認

スピーカーをプラズマディスプレイに取り付ける

ご注意

スピーカーは右用（R）·左用（L）に分かれています。
取り付けの際には、スピーカーの背面に書かれている文字（R ·L）でご確認ください。

1 クッションのはくり紙をはがして、スピーカーの側面、下図の位置に貼り付けます。

2 プラズマディスプレイ上部のネジ穴にネジ（M8）を仮留めします。（2カ所）

3 仮留めしたネジにスピーカー上部のフックを引っかけ、次にプラズマディスプレイ下部のネジ穴にスピーカーのフックの穴を合わせてネジ（M8）で仮留めします。

4 仮留めしたネジを締めつけます。（4カ所）

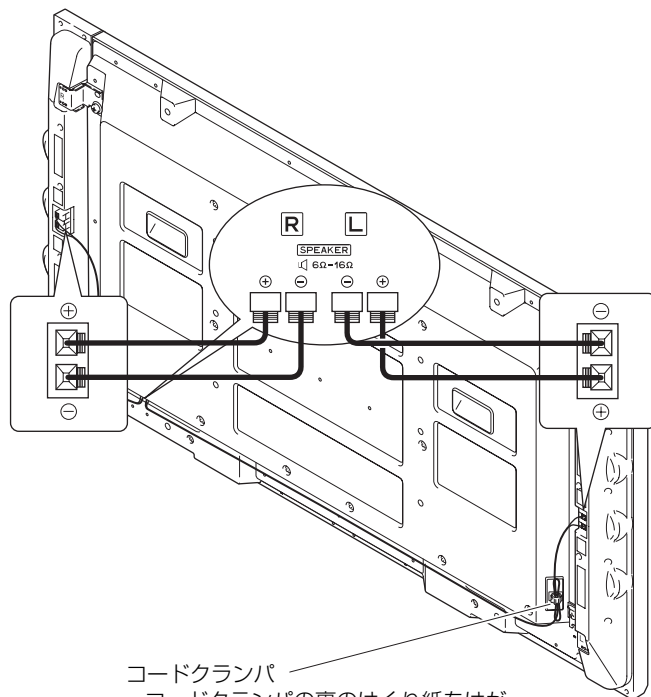
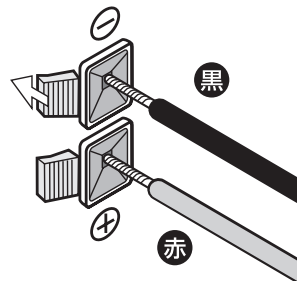
スピーカーを軽くプラズマディスプレイに押しつけながらネジを締めつけてください。4カ所のネジが確実に締めつけられていることを確認してください。

⚠ 警告	スピーカーをプラズマディスプレイに取り付けた状態で、スピーカーを持って移動しないでください。プラズマディスプレイが落下してけがの原因となります。

コードを接続する

ご注意

接続する際は接続機器の電源を切ってから行ってください。

付属の接続コードで、プラズマディスプレイのSPEAKER R/L端子とスピーカーの端子を接続します。

端子に接続したあとは、コードを軽く引いて、コードの先端が端子へ確実に接続されていることを確かめてください。接続が不完全だと、音がとぎれたり、雑音の出る原因となります。

極性⊕⊖がありますので、正しく挿入してください。

スピーカー端子のボタンを指で押したまま、接続コードの芯線を入れ指を離します。

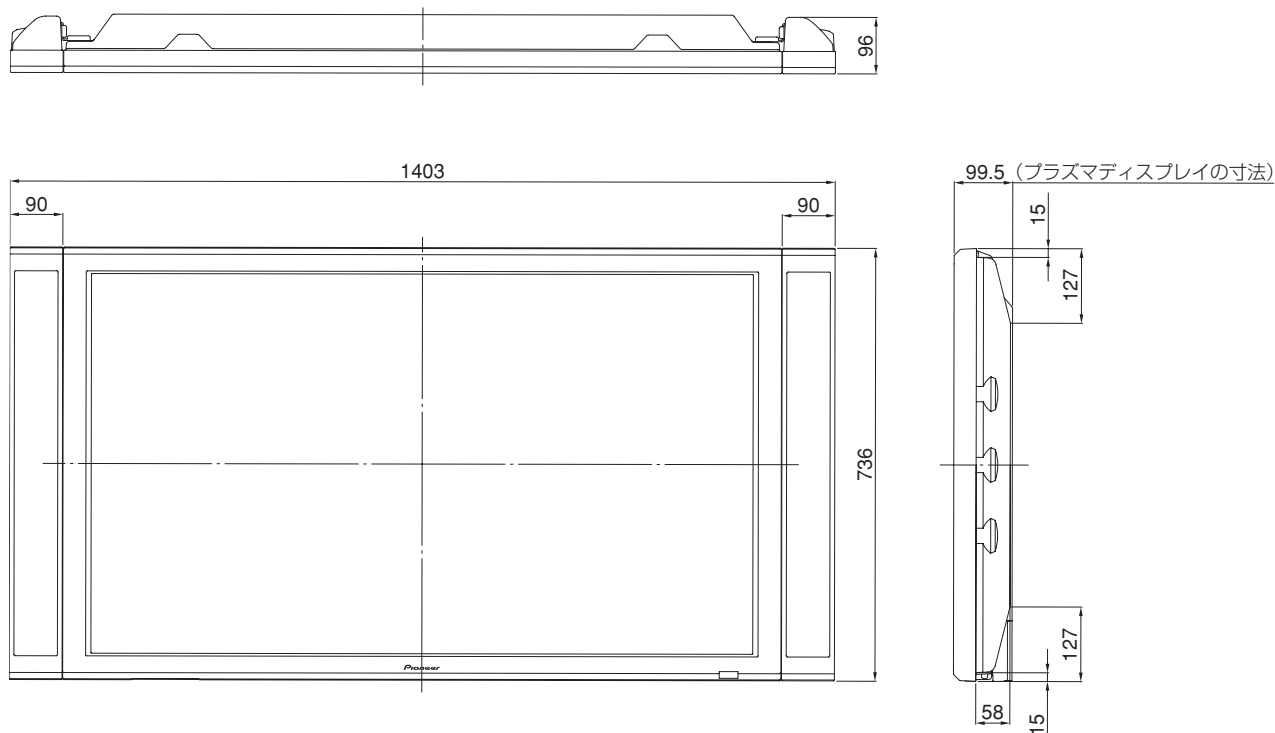
キャビネットのお手入れ

ご注意

お手入れの前に必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

- 毛羽立ちの少ない柔らかい乾いた布で拭いてください。
  汚れのひどいときは、水で薄めた中性洗剤に浸した布をよく絞って拭き取り、乾いた布で仕上げてください。
  化学ぞうきんを使用する場合は、その注意書に従ってください。
- シンナーやベンジンなどの溶剤で拭いたりしますと、変質したり、塗料がはげることがあります。
- スピーカーネット部のほこりを取り除く場合は、掃除機のブラシ付きのアダプタを使用してください。なお、アダプタを付けずに直接当てたり、ノズルアダプタを使用することは避けてください。
- キャビネットやスピーカーネット部を爪や硬いもので強くひっかいたり、当てたりすると、傷の原因となります。また、スピーカーネット部を鋭利なもので突き刺すと穴があく恐れがあります。

ご注意

キャビネットに殺虫剤など揮発性のものをかけたりしないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。

仕　様

型式 ... 2ウェイ・3スピーカーシステム（バスレフ方式）/1本
インピーダンス .... 6 Ω
定格入力 .... 20 W (JEITA)
最大入力 .... 60 W (JEITA)
外形寸法..... 90 mm (W) × 736 mm (H)× 96 mm (D)
（取付金具を除く/1本）
質量 .... 5.8 kg（2本）
使用条件............. 温度 0 ℃ ～40 ℃　湿度 20 %～80 %
保管条件......... 温度 −10 ℃～50 ℃　湿度 10 %～90 %

- 上記の仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。

寸法図

単位［mm］

保証とアフターサービス

保証書について

保証書は、必ず「取扱店名· 購入日」などの記入を確かめ取扱店から受け取っていただき、内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。

保証期間と保証内容について

保証期間

保証期間は、取扱説明書および本体貼付ラベルなどの注意に従った使用で、ご購入日より1年間です。

保証内容

以下の場合には保証期間中および保証期間経過後にかかわらず、性能、動作の保証をいたしません。さらに、故障した場合の修理についてもお受けいたしかねます。

- 本機を改造して使用した場合
- 不正使用や使用上の誤りの場合
- 他社製品や本機純正以外の付属品と組み合わせて使用したときに、動作異常などの原因が本機以外にあった場合
- **故障、故障の修理その他による営業上の機会損失（逸失利益）は保証期間中および保証期間経過後にかかわらず補償いたしかねますのでご了承ください。**

補修用性能部品の保有期間

当社はこの製品の補修用性能部品を製造打切後8年間保有しています。

修理を依頼されるとき

本書を参照して調べていただき、なお異常のあるときは、ご使用を中止し本機の取扱店にご連絡ください。

お願い

故障内容によっては、製品全体を取り外すことが必要となります。その場合には、据付業者に依頼しなければサービスを行えない場合がありますのであらかじめご了承ください。

■保証期間中は：

修理に際しては、保証書をご提示ください。保証書に記載されている当社保証規定に基づき修理いたします。

■保証期間が過ぎているときは：

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。